

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『首をかしげる』

意味: 変だなと思って考え込むこと。

ひとつこと: “小首をかしげる”とも言う。

使い方: 彼の決断には首をかしげる。

『首をつっこむ』

意味: ある物事に自分から関わること。

ひとつこと: すでにあることに加わるということ。

使い方: その問題に首を突っ込むと大変だよ。

ことわざ

『苦しいときの神だのみ』

意味: 普段信仰心のない人が、困ったときだけ神の助けを願うこと。

ひとつこと: 人間の身勝手さを表した言葉。

使い方: 彼は、テストの前だけ困ったときの神だのみとばかりに、親しげにノートを借りにくる。

『芸(げい)は身を助ける』

意味: 何かひとつできる芸があると、いざとなった時、暮らしの助けになるという意味。

ひとつこと: 対義語として“芸は身の仇(あだ)”“芸は身を破(やぶ)る”がある。

使い方: 芸は身を助けると言っ、母は私にバイオリンを習わせた。